

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

全学年共通 「問題解決的な学習を充実し、考える力、表現する力の育成
～授業のユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、
生活科・理科の授業を工夫して～」

- ◆本校の児童の実態を考慮して、問題解決的な学習過程の中での思考力・判断力・表現力の育成を重視した
- ◆問題解決の学習過程を本校の児童の実態と ESD で必要な資質・能力と関連させ、生活科：出会う・調べる・考える・まとめる、理科：つかむ・調べる・考える・まとめるとし、考える力、表現する力の育成をめざす。
- ◆授業のユニバーサルデザインを取り入れた授業の工夫と学習環境づくり
上記3つの課題をもち、生活科と理科を中心としながらも、他教科及び領域とも関連させながら、問題解決的な授業をしていくことで、批判的に考える力、コミュニケーションを行う力、他者と協力する態度等につなげていこうと考えた

【1年】環境教育の推進

「花となかよし」 アサガオなどの栽培活動

「鳥となかよし」 身近な鳥などの野鳥観察

【2年】環境教育の推進

「おいしくそだて わたしのやさい」 育てた野菜の収穫や食育

「鳥は友だち」 身近な鳥の観察 日本野鳥の会員による指導

【3年】環境教育の推進

「〇〇博士になろう」 〇〇は蚕、大豆、野鳥、虫、植物の調査・栽培・観察活動

社会福祉教育

「手話で話そう」 地域の高齢者、障がい者とのふれあい

【4年】環境教育の推進 環境について考えよう

「ゴミについて考えよう」「校庭の自然に触れよう」「愛鳥活動」

福祉教育の推進

「障がいのある人たちとかかわろう」車いす・アイマスク等の体験

国際理解教育の推進

「外国の様子を知ろう」外国の人たちとふれあおう

キャリア教育の推進

「1/2成人式をやろう」感謝の気持ちとこれからの生きる力

【5年】環境教育の推進

「稲を育てよう」稲の栽培と収穫と食育

「野鳥観察&バードコール作り」河口湖の野鳥観察と調査活動

福祉教育の推進

「今わたしたちにできること」障がいのある人たちとのふれあい

【6年】環境教育の推進

「綿について調べて、綿を育てよう」

「八ヶ岳の環境調査（鳥のついて）」「愛鳥活動」

国際理解教育の推進

「広げようわたしたちの世界」観点別の国際比較とガイドマップ作り

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）

多摩市立貝取小学校のE S Dの取組



愛鳥活動



問題解決的な学習



栽培活動



2年生は交通公園での校外学習の際に、多摩川の野鳥を観察する学習を行います。4年生と6年生は、日本野鳥の会の方を講師として、校庭、学校周り、瓜生緑地で野鳥観察を行います。また、愛鳥週間を設け、身近な鳥の特徴や種類に関心をもち、継続的に親しむことができるように愛鳥カルタを掲示したり、昼の放送で愛鳥クイズを行ったりする取組をしています。

栽培活動・愛鳥活動・環境学習を問題解決的な学習として進め、「課題を見つけ、自ら学び・考え・判断し、よりよく問題を解決する資質・能力」や「協同的に取り組む態度」を育てています。また、今年度は、生活科と理科を切り口として、【課題設定→課題追究(観察・実験)→結果・整理→まとめ】の学習過程の中で、言語活動を充実させ、「考える力」「表現する力」の育成を目指しています。

例えば、4年生は、ゴーヤを育ててグリーンカーテンにしたり地域の施設に配ったりしています。5年生は、地域の方の指導を受けながら、田作り、田植え、もみとり、精米などの稲の栽培活動に取り組んでいます。6年生は、綿を育てて、綿の歴史調べたり、収穫した綿で作品を作ったりしています。環境委員会の児童は、恵泉女学園大学の「菜園教育プログラム」で指導していただいたことを生かし、パンジーや菜の花などの草花の栽培活動に取り組んでいます。